

# CANON FACT BOOK

2024/2025

# キヤノングループ最新の10年 (2023年12月31日時点)

## 売上高・売上総利益・営業利益・税引前当期純利益・当期純利益

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
売上高	3,727,252	3,800,271	3,401,487	4,080,015	3,951,937	3,593,299	3,160,243	3,513,357	4,031,414	4,180,972
売上総利益	1,860,422	1,932,096	1,671,998	1,990,554	1,835,554	1,610,033	1,375,868	1,627,792	1,827,802	1,968,910
営業利益	345,354	343,729	216,338	322,211	342,452	174,420	110,547	281,918	353,399	375,366
税引前当期純利益	382,843	347,309	244,564	354,490	362,392	195,493	130,280	302,706	352,440	390,767
当社株主に帰属する当期純利益	254,627	219,943	150,334	242,081	252,441	124,964	83,318	214,718	243,961	264,513
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(EPS) (基本的)(円)	228.88	201.41	137.66	223.03	233.80	116.79	79.37	205.35	236.71	264.20
(希薄化後)(円)	228.88	201.40	137.66	223.03	233.78	116.77	79.35	205.29	236.63	264.08

\*有給休暇の引当金について2014年～2019年の財務諸表を修正しています

## 収益性

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
売上総利益率	49.9	50.8	49.2	48.8	46.4	44.8	43.5	46.3	45.3	47.1
営業利益率	9.3	9.0	6.4	7.9	8.7	4.9	3.5	8.0	8.8	9.0
税引前当期純利益率	10.3	9.1	7.2	8.7	9.2	5.4	4.1	8.6	8.7	9.3
当社株主に帰属する当期純利益率	6.8	5.8	4.4	5.9	6.4	3.5	2.6	6.1	6.1	6.3
総資本当期純利益率(ROA) *当社株主に帰属	5.8	4.9	3.1	4.7	5.0	2.6	1.8	4.6	5.0	5.0
株主資本当期純利益率(ROE) *当社株主に帰属	8.7	7.4	5.2	8.6	8.9	4.5	3.2	7.9	8.1	8.2

\*有給休暇の引当金について2014年～2019年の財務諸表を修正しています

## ビジネスユニット別売上高\*

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
オフィス	2,078,732	2,110,816	1,807,819	1,865,928	1,868,355	1,752,107	1,440,212	—	—	—
メディカルシステム	—	—	—	436,187	437,578	438,525	436,074	—	—	—
イメージングシステム	1,343,194	1,263,835	1,095,289	1,099,125	970,435	807,414	712,238	—	—	—
産業機器その他	398,765	524,651	584,660	768,767	781,887	688,433	654,813	—	—	—
プリンティング	—	—	—	—	—	—	—	1,946,656	2,272,610	2,346,076
メディカル	—	—	—	—	—	—	—	480,362	513,331	553,780
イメージング	—	—	—	—	—	—	—	653,532	803,480	861,625
インダストリアル	—	—	—	—	—	—	—	337,721	329,232	314,719
その他及び全社	—	—	—	—	—	—	—	178,784	212,349	189,791

\*内部管理体制の変更にもとづき、2022年より、セグメント区分の名称及び構成を変更しています。これにともない、2021年度も遡及して組み替えています  
\*2023年より、従来その他に含めて表示していた一部のビジネスを、プリンティングビジネスユニットに含めて表示しています。これにともない、2021年・2022年について組み替えて表示しています

## 地域別売上高

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
日本	724,317	714,280	706,979	884,828	869,577	872,534	806,305	830,378	864,808	901,589
米州	1,036,500	1,144,422	963,544	1,107,515	1,076,402	1,029,078	852,451	968,839	1,255,405	1,312,438
欧州	1,090,484	1,074,366	913,523	1,028,415	1,015,428	882,480	795,616	894,898	1,034,008	1,111,211
アジア・オセアニア	875,951	867,203	817,441	1,059,257	990,530	809,207	705,871	819,242	877,193	855,734

## 総資産・株主資本・有利子負債・手元資金・棚卸資産

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
総資産	4,464,854	4,431,720	5,142,279	5,201,626	4,902,955	4,771,918	4,625,614	4,750,888	5,095,530	5,416,577
株主資本	2,971,963	2,959,929	2,776,327	2,863,986	2,820,644	2,685,496	2,575,031	2,873,773	3,113,105	3,353,022
株主資本比率(%)	66.6	66.8	54.0	55.1	57.5	56.3	55.7	60.5	61.1	61.9
有利子負債	2,166	1,569	613,139	532,566	400,489	514,946	506,172	320,971	417,413	517,317
有利子負債依存度(%)	0.0	0.0	11.9	10.2	8.2	10.8	10.9	6.8	8.2	9.6
手元資金	844,580	633,613	630,193	721,814	520,645	412,814	407,684	401,395	362,101	401,323
手元資金回転月数(月)*	2.6	1.9	2.2	2.0	1.6	1.4	1.4	1.3	1.0	1.1
棚卸資産	528,167	501,895	560,736	570,033	611,281	584,756	562,807	650,568	808,312	796,881
棚卸資産回転日数(日)*	50	47	59	49	56	59	60	66	69	66

\*回転期間は直近6カ月の売上高にもとづいて算出しています

## キャッシュ・フロー

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
営業活動によるキャッシュ・フロー	583,927	474,724	500,283	590,557	365,293	358,461	333,805	451,028	262,603	451,190
投資活動によるキャッシュ・フロー	-269,298	-453,619	-837,125	-165,010	-195,615	-228,568	-155,439	-207,256	-180,820	-275,372
フリー・キャッシュ・フロー	314,629	21,105	-336,842	425,547	169,678	129,893	178,366	243,772	81,783	175,818

## 研究開発費・設備投資額・減価償却費

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
研究開発費*1	308,979	328,500	302,376	333,371	315,842	298,503	272,312	287,338	306,730	331,914
売上高研究開発費比率(%)*1	8.3	8.6	8.9	8.2	8.0	8.3	8.6	8.2	7.6	7.9
設備投資額*2	224,760	243,130	208,379	181,389	200,504	211,228	161,727	179,000	183,291	231,725
減価償却費	263,480	273,327	250,096	261,881	251,554	237,327	227,825	221,246	226,492	238,676

\*1 2018年度より適用している年金会計基準変更影響にともない、「営業利益」と「営業外収益及び費用」で組替え処理を行っており、研究開発費についても2017年まで遡及して反映しています  
\*2 設備投資は、有形固定資産と無形固定資産の合計です

## キヤノングループ地域別従業員数(期末)

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
日本	69,201	68,325	72,913	73,665	73,460	72,979	72,338	70,924	69,455	68,532
米州	18,029	17,635	19,160	18,448	18,361	18,207	15,307	15,263	15,771	15,945
欧州	22,356	24,826	25,511	25,623	25,281	23,126	22,578	22,166	22,214	22,651
アジア・オセアニア	82,303	78,785	80,089	80,040	77,954	72,729	71,674	75,681	73,335	62,023
合計	191,889	189,571	197,673	197,776	195,056	187,041	181,897	184,034	180,775	169,151

## 格付け

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
スタンダード&プアーズ(S&P)	AA	AA	AA	AA-	AA-	A+	A	A	A	A
格付投資情報センター(R&I)	AA+	AA	AA	AA						

## 米国特許登録件数上位10社(2019年～2023年)\*

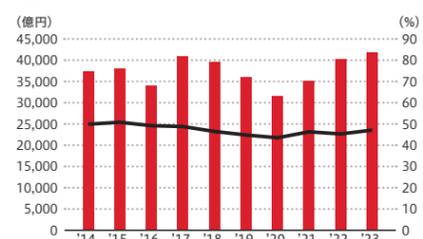
順位	2019 権利者	件数	2020 権利者	件数	2021 権利者	件数	2022 権利者	件数	2023 権利者	件数
1	IBM*1	9,262	IBM	9,130	IBM	8,682	SAMSUNG ELECTRONICS	6,248	SAMSUNG ELECTRONICS	6,165
2	SAMSUNG ELECTRONICS	6,469	SAMSUNG ELECTRONICS	6,415	SAMSUNG ELECTRONICS	6,366	IBM	4,398	QUALCOMM	3,854
3	キヤノン	3,548	キヤノン	3,225	キヤノン	3,021	TSMC	3,024	TSMC	3,687
4	MICROSOFT TECHNOLOGY LICENSING	3,081	MICROSOFT TECHNOLOGY LICENSING	2,905	TSMC	2,798	HUAWEI TECHNOLOGIES	2,836	IBM	3,658
5	INTEL	3,020	INTEL	2,867	HUAWEI TECHNOLOGIES	2,770	キヤノン	2,694	キヤノン	2,890
6	LG ELECTRONICS	2,805	TSMC*2	2,833	INTEL	2,615	LG ELECTRONICS	2,641	SAMSUNG DISPLAY	2,564
7	APPLE	2,490	LG ELECTRONICS	2,831	APPLE	2,541	QUALCOMM	2,625	APPLE	2,536
8	FORD GLOBAL TECHNOLOGIES	2,468	APPLE	2,791	LG ELECTRONICS	2,487	INTEL	2,418	LG ELECTRONICS	2,296
9	AMAZON TECHNOLOGIES	2,427	HUAWEI TECHNOLOGIES	2,761	MICROSOFT TECHNOLOGY LICENSING	2,418	APPLE	2,285	MICRON TECHNOLOGY	2,233
10	HUAWEI TECHNOLOGIES	2,418	QUALCOMM	2,276	QUALCOMM	2,149	トヨタ自動車	2,214	INTEL	2,145

\*1: IBMは、International Business Machines Corporationの略称です \*2: TSMCは、Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Limitedの略称です

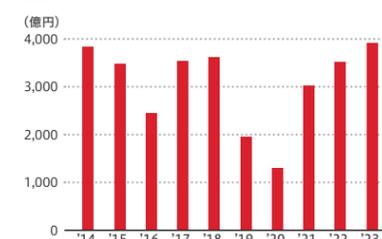
## 期末株価・期末株式時価総額・配当金

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
期末株価(円)	3,841	3,675	3,295	4,200	3,001	2,987	1,978	2,801	2,856	3,620
期末株式時価総額(百万円)	5,122,319	4,901,581	4,394,751	5,601,807	4,002,624	3,983,950	2,638,183	3,735,870	3,809,227	4,828,222
1株当たり年間配当金(円)	150	150	150	160	160	160	80	100	120	140

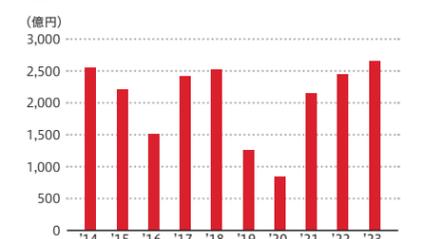
## 売上高と売上総利益率の推移



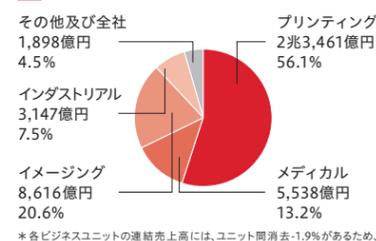
## 税引前当期純利益の推移



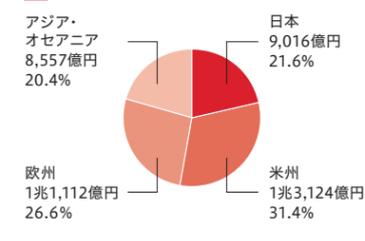
## 当社株主に帰属する当期純利益の推移



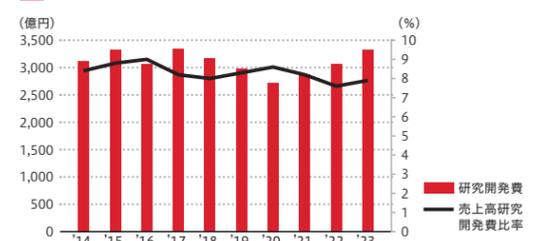
## ビジネスユニット別売上高(2023)\*



## 地域別売上高(2023)

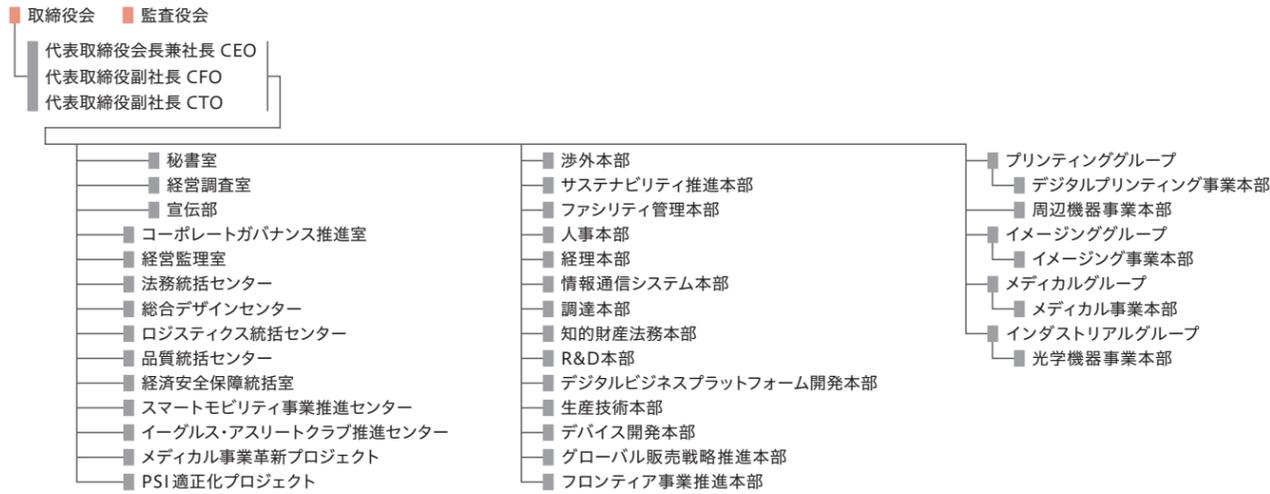


## 研究開発費と売上高研究開発費比率の推移



# キヤノン株式会社の組織 (2024年4月1日時点)

## キヤノン株式会社 組織図



## キヤノン株式会社 役員 (2024年4月1日時点) \*社外取締役・社外監査役

取締役						
代表取締役会長兼社長 CEO 御手洗 富士夫	代表取締役副社長 CFO 田中 稔三 渉外本部長 ファンリティ管理本部長 コーポレートガバナンス推進室長	代表取締役副社長 CTO 本間 利夫 プリンティンググループ管掌	取締役副社長 小川 一登 グローバル販売戦略推進本部長 キヤノントッキ株式会社 会長	専務取締役 武石 洋明 インダストリアルグループ管掌 キヤノントッキ株式会社 会長	専務取締役 浅田 稔 経理本部長 PSI適正化プロジェクトチーフ	
取締役* 川村 雄介	取締役* 池上 政幸	取締役* 鈴木 正規	取締役* 伊藤 明子			
監査役						
常勤監査役 岡山 知弘	監査役* 旗持 秀也	監査役* 中田 豊	監査役* 吉田 洋	監査役* 榎本 浩一		
執行役員						
副社長執行役員 小澤 秀樹 Canon (China) Co., Ltd. 社長	専務執行役員 飯島 克己 デジタルビジネスプラットフォーム開発本部長 メディカル事業革新プロジェクトチーフ	専務執行役員 増子 律夫 大分カンヤン株式会社社長	専務執行役員 田中 朗子 メディカル事業本部長 副事業本部長	専務執行役員 甲谷 英人 IMG第三事業部長	専務執行役員 澤 俊詩 取手工場長	
専務執行役員 瀧口 登志夫 メディカルグループ管掌 キヤノンメディカルシステムズ株式会社 社長	専務執行役員 戸倉 剛 イメージンググループ管掌	専務執行役員 長島 和彦 Canon Europe Ltd. 執行副社長	専務執行役員 岩渕 洋一 情報通信システム本部長	専務執行役員 橋本 玉己 SRP統括部門長	専務執行役員 新庄 克彦 R&D本部副本部長	専務執行役員 大森 正樹 キヤノンマシナリー株式会社 社長
専務執行役員 飯島 克己 デジタルビジネスプラットフォーム開発本部長 メディカル事業革新プロジェクトチーフ	専務執行役員 増子 律夫 大分カンヤン株式会社社長	専務執行役員 田中 朗子 メディカル事業本部長 副事業本部長	専務執行役員 甲谷 英人 IMG第三事業部長	専務執行役員 澤 俊詩 取手工場長	専務執行役員 瀧口 登志夫 メディカルグループ管掌 キヤノンメディカルシステムズ株式会社 社長	専務執行役員 戸倉 剛 イメージンググループ管掌
専務執行役員 飯島 克己 デジタルビジネスプラットフォーム開発本部長 メディカル事業革新プロジェクトチーフ	専務執行役員 増子 律夫 大分カンヤン株式会社社長	専務執行役員 田中 朗子 メディカル事業本部長 副事業本部長	専務執行役員 甲谷 英人 IMG第三事業部長	専務執行役員 澤 俊詩 取手工場長	専務執行役員 瀧口 登志夫 メディカルグループ管掌 キヤノンメディカルシステムズ株式会社 社長	専務執行役員 戸倉 剛 イメージンググループ管掌

# キヤノングループ各社概要 (2024年3月31日時点) \*従業員数は2023年12月31日時点

## キヤノン株式会社

設立	従業員数	URL
1937年8月	23,931人	https://global.canon
事業所名	所在地	
本社	東京都大田区下丸子3-30-2	
矢向事業所	神奈川県川崎市幸区塚越3-451	
川崎事業所	神奈川県川崎市幸区柳町70-1	
玉川事業所	神奈川県川崎市高津区下野毛3-16-1	
小杉事業所	神奈川県川崎市中原区今井上町9-1	
平塚事業所	神奈川県平塚市田村9-22-5	
平塚第二事業所	神奈川県平塚市大神3-7-1	
綾瀬事業所	神奈川県綾瀬市吉岡2596	
富士裾野リサーチパーク	静岡県裾野市深良4202	
宇都宮事業所	宇都宮工場	栃木県宇都宮市清原工業団地19-1
	宇都宮光学機器事業所	栃木県宇都宮市清原工業団地20-2
	光学技術研究所	栃木県宇都宮市清原工業団地23-10

事業所名	所在地
大田原事業所	栃木県大田原市下石上1385
取手事業所	茨城県取手市白山7-5-1
阿見事業所	茨城県福嶋郡阿見町大字吉原3577
大分事業所	大分県大分市丹生993-1
Canon Global Management Institute	東京都目黒区中根2-2-14
大分ものづくり人材育成センター	大分県大分市角子原1867-1
坂東物流センター	茨城県坂東市馬立1234

## 製造会社

会社名	所在地	設立	従業員数
<b>日本</b>			
キヤノン電子株式会社	埼玉県秩父市	1954.5	1,786
キヤノンプレジジョン株式会社	青森県弘前市	1952.12	1,846
キヤノン化成株式会社	茨城県つくば市	1950.5	1,377
大分カンヤン株式会社	大分県国東市	1982.2	2,865
キヤノンファインテックニスカ株式会社	埼玉県三郷市	1953.12	1,445
キヤノン・コンポーネンツ株式会社	埼玉県児玉郡	1984.1	990
長浜キヤノン株式会社	滋賀県長浜市	1988.9	1,061
キヤノンオプトロン株式会社	茨城県結城市	1974.12	156
大分カンヤンマテリアル株式会社	大分県杵築市	1998.1	1,461
上野カンヤンマテリアル株式会社	三重県伊賀市	2002.4	401
福島キヤノン株式会社	福島県福島市	2003.4	1,551
キヤノンセミコンダクターエキップメント株式会社	茨城県福嶋郡	1917.5	524
キヤノンエコロジーインダストリー株式会社	茨城県坂東市	2004.1	520
キヤノンモールド株式会社	茨城県笠間市	1972.11	493
キヤノントッキ株式会社	新潟県見附市	1967.7	580
長崎キヤノン株式会社	長崎県東彼杵郡	2008.7	659
キヤノナネルバ株式会社	神奈川県川崎市	1967.10	1,055
キヤノンマシナリー株式会社	滋賀県草津市	1972.1	714
キヤノンウィンド株式会社	大分県大分市	2008.10	31
キヤノンメディカルシステムズ株式会社	栃木県大田原市	1948.9	5,451
宮崎キヤノン株式会社	宮崎県児湯郡	1980.1	888
キヤノン電子管デバイス株式会社	栃木県大田原市	2003.10	518
福井キヤノンマテリアル株式会社	福井県福井市	2017.7	139
ミナリスメディカル株式会社	東京都中央区	1981.4	344
株式会社オハラ*	神奈川県相模原市	1941.11	462*
<b>米州</b>			
Canon Virginia, Inc.	アメリカ/バージニア州	1985.11	926

会社名	所在地	設立	従業員数
Canon Environmental Technologies, Inc.	アメリカ/バージニア州	1996.11	98
Redlen Technologies Inc.	カナダ/ブリティッシュコロンビア州	1999.11	222
Quality Electrodynamics, LLC	アメリカ/オハイオ州	2006.2	139
<b>欧州</b>			
Canon Giessen GmbH	ドイツ/ギーゼン	1972.7	300
Canon Bretagne S.A.S.	フランス/リフレ	1983.8	542
Canon Production Printing Netherlands B.V.	オランダ/フェンロー	1954.12	1,869
Canon Production Printing Germany GmbH & Co. KG	ドイツ/ボーイング	1989.7	883
Axis Communications AB	スウェーデン/ルンド	1984.4	2,856
Edale Ltd.	イギリス/フェアラム	1972.4	90
<b>アジア</b>			
キヤノン大連事務機有限公司	中国/遼寧省	1989.9	1,102
キヤノン(中山)事務機有限公司	中国/広東省	2001.6	2,031
キヤノン(蘇州)有限公司	中国/江蘇省	2001.9	2,926
キヤノンマシナリー(大連)有限公司	中国/遼寧省	2003.10	50
キヤノンファインテックニスカ(深圳)有限公司	中国/広東省	1993.2	450
台湾キヤノン股份有限公司	台湾	1970.6	4,173
キヤノン電産香港有限公司	香港	1991.11	66
Canon Opto (Malaysia) Sdn. Bhd.	マレーシア/スランゴール州	1988.12	1,625
Canon Electronics (Malaysia) Sdn. Bhd.	マレーシア/ペナン州	1988.12	803
Canon Machinery (Malaysia) Sdn. Bhd.	マレーシア/スランゴール州	1995.10	190
Canon Hi-Tech (Thailand) Ltd.	タイ/アユタヤ	1990.8	7,288
Canon Prachinburi (Thailand) Ltd.	タイ/プラチンブリー	2011.9	5,612
Canon Business Machines (Philippines), Inc.	フィリピン/パタンガス	2011.12	3,172
Canon Vietnam Co., Ltd.	ベトナム/ハノイ	2001.4	18,551
Canon Electronics Vietnam Co., Ltd.	ベトナム/フンイエン省	2008.11	2,009

## 研究開発・ソフトウェア会社

会社名	所在地	設立	従業員数
<b>日本</b>			
キヤノンイメージングシステムズ株式会社	新潟県新潟市	1990.1	479
キヤノンITソリューションズ株式会社	東京都港区	1982.7	4,000
TCS株式会社	東京都渋谷区	1989.3	162
キヤノンエスキースシステム株式会社	東京都港区	1994.9	13
キヤノン電子テクノロジー株式会社	東京都港区	1970.4	427
<b>米州</b>			
Canon Nanotechnologies, Inc.	アメリカ/テキサス州	2001.2	101
Arcules Inc.	アメリカ/カリフォルニア州	2017.6	85

会社名	所在地	設立	従業員数
<b>欧州</b>			
Canon Research Centre France S.A.S.	フランス/イル・エ・ヴィレーヌ	1990.5	48
Canon Ophthalmic Technologies Sp. z o.o.	ポーランド/ヴロツワフ	1992.8	30
NT-ware Systemprogrammierungs-GmbH	ドイツ/ハート・イーブルク	1998.3	116
<b>アフリカ・中近東</b>			
BriefCam Ltd.	イスラエル/モディーン	2007.12	108
<b>アジア</b>			
キヤノスイバーティブソリューション(北京)有限公司	中国/北京	1998.4	50
キヤノン(蘇州)システムソフトウェア有限公司	中国/江蘇省	2002.12	109

★は持分法適用関連会社です ※2023年10月31日時点

■ 販売会社

会社名	所在地	設立	従業員数
<b>日本</b>			
キヤノンマーケティングジャパン株式会社	東京都港区	1968.2	4,528
キヤノンシステムアンドサポート株式会社	東京都港区	1980.5	4,555
エーアンドエー株式会社	東京都港区	1984.6	70
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社	東京都港区	2014.4	381
茨城マーケティングシステムズ株式会社	茨城県水戸市	2013.9	14
キヤノン電子ビジネスシステムズ株式会社	埼玉県秩父市	1984.7	30
キヤノンメディックサプライ株式会社	神奈川県川崎市	1956.5	241
<b>米州</b>			
Canon U.S.A., Inc.	アメリカ/ニューヨーク州	1965.12	1,807
Canon Solutions America, Inc.	アメリカ/ニューヨーク州	2013.1	4,058
Canon Financial Services, Inc.	アメリカ/ニュージャージー州	1979.7	306
Canon Business Process Services	アメリカ/ニューヨーク州	2013.1	3,124
Canon Canada Inc.	カナダ/オンタリオ州	1972.9	820
Canon Panama, S.A.	パナマ/パナマシティ	1968.12	122
Canon do Brasil Indústria e Comércio Ltda.	ブラジル/サンパウロ	1974.11	264
Canon Chile S.A.	チリ/サンティアゴ	1994.11	129
Canon Mexicana, S.de R.L.de C.V.	メキシコ/メキシコシティ	1978.7	322
Axis Communications Inc.	アメリカ/マサチューセッツ州	1988.1	563
Canon Medical Systems USA, Inc.	アメリカ/カリフォルニア州	1989.2	1,073
<b>欧州</b>			
Canon Europe Ltd.	イギリス/ロンドン	2000.10	776
Canon Europa N.V.	オランダ/アムステルフェーン	1982.1	572
Canon (UK) Ltd.	イギリス/ロンドン	1976.6	1,315
Canon (Ireland) Business Equipment Ltd.	アイルランド/ダブリン	1987.8	61
Canon France S.A.S.	フランス/パリ	1975.11	969
Canon Deutschland GmbH	ドイツ/クレーフェルト	1973.7	1,388
Canon Italia S.p.A.	イタリア/ミラノ	1972.8	424
Canon Nederland N.V.	オランダ/スヘルトヘンボス	1994.7	882
Canon Belgium N.V./S.A.	ベルギー/ディエグム	1978.2	450
Canon Luxembourg S.A.	ルクセンブルク	1979.5	44
Canon Austria GmbH	オーストリア/ウィーン	1975.1	348
Canon CEE GmbH	オーストリア/ウィーン	1994.3	99
Canon (Schweiz) AG	スイス/ヴァリゼレン	1951.7	514
Canon Hungaria Kereskedelmi Kft.	ハンガリー/ブダペスト	1994.4	118
Canon Polska Sp. z o. o.	ポーランド/ワルシャワ	1994.8	240
Canon CZ spol.s.r.o.	チェコ/ブラハ	1994.8	188
Canon Slovakia s.r.o.	スロバキア/ブラチスラバ	2000.3	17
Canon Danmark A/S	デンマーク/ソボー	1999.12	210
Canon Norge AS	ノルウェー/オスロ	1967.5	263
Canon Svenska AB	スウェーデン/ストックホルム	1970.6	258
Canon Oy	フィンランド/ヘルシンキ	1941.3	263
Canon ADRIA d.o.o.	スロベニア/リュブリャナ	2006.2	11
Canon Bulgaria EOOD	ブルガリア/ソフィア	2001.6	10
Canon Ukraine LLC	ウクライナ/キーウ	2012.11	15
Canon Croatia d.o.o.	クロアチア/ザグレブ	2013.7	5
Canon Romania SRL	ルーマニア/ブカレスト	2020.5	12
Canon Ru LLC	ロシア/モスクワ	2004.11	24
Canon España S.A.U.	スペイン/マドリッド	1974.11	835
Canon Portugal S.A.	ポルトガル/ポルト・サルヴォ	2007.6	125
Milestone Systems A/S	デンマーク/コペンハーゲン	1998.2	612
Canon Medical Components Europe B.V.	オランダ/アムステルフェーン	2022.7	20
Canon Medical Systems Europe B.V.	オランダ/アムステルフェーン	1981.2	283
<b>アフリカ・中近東</b>			
Canon Eurasia A.S.	トルコ/イスタンブール	2007.11	126
Canon Middle East FZ-LLC	アラブ首長国連邦/ドバイ	2001.1	239
Canon Emirates LLC	アラブ首長国連邦/ドバイ	2007.11	113
Canon Office Imaging Solutions (Doha) LLC	カタール/ドーハ	2014.11	41
Canon South Africa (Pty) Ltd.	南アフリカ/センチュリオン	1999.10	167
Canon Kenya Ltd.	ケニア/ナイロビ	2013.1	15

会社名	所在地	設立	従業員数
Canon Nigeria Imaging Solutions Ltd.	ナイジェリア/ラゴス	2016.6	15
Canon Saudi Arabia LLC	サウジアラビア/リヤド	2018.6	91
Canon Israel Imaging and Business Solutions Ltd.	イスラエル/レホボト	2017.11	8
<b>アジア</b>			
キヤノン(中国)有限公司	中国/北京	1997.3	1,202
キヤノン香港有限公司	香港	1979.12	467
キヤノンマーケティング(台湾)股份有限公司	台湾	2001.4	149
Canon Singapore Pte. Ltd.	シンガポール	1979.10	766
Canon Marketing (Malaysia) Sdn. Bhd.	マレーシア/スランゴール州	1986.12	534
Canon Marketing (Thailand) Co., Ltd.	タイ/バンコク	1994.1	590
Canon Marketing (Philippines), Inc.	フィリピン/タギックシティ	1996.12	268
Canon India Pvt. Ltd.	インド/ニューデリー	1996.12	935
Canon Marketing Vietnam Co., Ltd.	ベトナム/ホーチミン	2012.6	16
Canon Semiconductor Engineering Korea Inc.	韓国/ソウル	1993.5	495
キヤノン光学設備(上海)有限公司	中国/上海	2002.1	651
キヤノン半導体設備股份有限公司	台湾	1997.1	498
キヤノンメディカルシステムズ(中国)有限公司	中国/北京	2007.3	734
佳能電子元器件材料貿易(上海)有限公司	中国/上海	2004.2	18
Canon Korea Inc.*	韓国/ソウル	1985.5	1,188
<b>オセアニア</b>			
Canon Australia Pty. Ltd.	オーストラリア/シドニー	1978.8	522
Canon New Zealand Ltd.	ニュージーランド/オークランド	1989.9	374
Canon Business Services Australia Pty Ltd.	オーストラリア/シドニー	1994.2	525
Satalyst Pty Ltd.	オーストラリア/パース	2005.4	35

■ その他関係会社

会社名	所在地	設立	従業員数
<b>日本</b>			
キヤノン技術情報サービス株式会社	東京都大田区	2003.9	85
キヤノンITSメディカル株式会社	東京都品川区	1972.10	311
キヤノンビズアテンド株式会社	東京都港区	1985.10	289
キヤノンビジネスサポート株式会社	東京都港区	1997.9	585
株式会社キュービーファイブ	東京都千代田区	2001.12	55
キヤノんカスタマーサポート株式会社	千葉県千葉市	1996.4	770
キヤノンメディカルファイナンス株式会社	東京都中央区	1970.9	47
スペースワン株式会社 <sup>※1</sup>	東京都港区	2017.7	46
<b>米州</b>			
Canon Healthcare USA, Inc.	アメリカ/オハイオ州	2023.2	5
Canon Information Technology Services, Inc.	アメリカ/バージニア州	1998.6	291
<b>欧州</b>			
I.R.I.S. Group SA	ベルギー/ルーヴァン・ラ・ヌーヴ	1987.4	150 <sup>※2</sup>
<b>アジア</b>			
キヤノンエンジニアリング香港有限公司	香港	1996.4	89
Canon MailCom Malaysia Sdn. Bhd.	マレーシア/スランゴール州	1982.1	166
<b>オセアニア</b>			
Canon Finance Australia Ltd.	オーストラリア/シドニー	1988.10	12

\*は持分法適用関連会社です  
 ※1はキヤノン電子株式会社の持分法適用関連会社です ※2はI.R.I.S. Group SA全体の従業員数です

キヤノンの歩み

●事業に関する出来事 ●製品に関する出来事

1930-40年代  
~世界一のカメラをめざして~

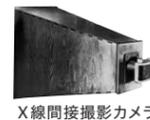
- 1933 ● 東京都麻布区六本木に高級小型写真機の研究を目的とする精機光学研究所開設
- 1934 ● 国産初の35mmフォーカスプレインシャッターカメラ「KWANON (カンノン)」試作
- 1935 ● 商標CANON出願
- 1936 ● 35mmフォーカスプレインシャッターカメラ「ハンザキヤノン」発売
- 1937 ● 精機光学工業株式会社として創業
- 1939 ● レンズ(セレナーと命名)の自社生産に着手
- 1940 ● 国産初のX線間接撮影カメラを開発
- 1942 ● 御手洗毅、精機光学工業株式会社社長に就任
- 1945 ● フォーカスプレインシャッターカメラ「普及型(JII)」の生産再開
- 1946 ● 銀座カメラサービスステーション開設  
● 戦後初のカメラ新製品「キヤノンSII」発売、進駐将兵、来日バイヤーに好評を博す
- 1947 ● キヤノンカメラ株式会社に社名変更  
● 貿易再開に際し、貿易最適輸出品に指定される
- 1949 ● 証券取引所再開と同時に株式を上場  
● 全米カメラ展示会でキヤノンII B型が1等賞受賞



KWANON



ハンザキヤノン



X線間接撮影カメラ



御手洗毅



下丸子本社工場



ニューヨーク支店開設



8T



キヤノンネット



キヤノラ130

1950-60年代  
~グローバル化・多角化に挑戦~

- 1951 ● 東京都大田区下丸子に本社、工場を集結
- 1952 ● 世界初のスピードライト同調35mmカメラ「IV Sbj」発売
- 1955 ● ニューヨーク支店開設
- 1956 ● 8mmシネカメラ「8T」発売
- 1957 ● スイスに欧州総代理店、キヤノンヨーロッパ開設  
● スチルカメラ「L1」、8mmシネカメラ「8T」が、日本初のグッドデザイン商品の選定を受ける
- 1958 ● TVカメラ用フィールドズームレンズ発売
- 1961 ● 「キヤノネット」発売、爆発的な売上を記録、EEカメラブーム起こる
- 1962 ● 第一次5カ年計画を策定、事務機分野への本格的取り組み開始  
● パナマに中南米総代理店、キヤノンラテンアメリカ開設
- 1963 ● キヤノンSAジュネーブ(スイス)設立、総代理店制を廃止し、キヤノン本社直属の販売体制スタート
- 1964 ● 世界初のテン(10)キー式電卓「キヤノラ130」発売
- 1965 ● キヤノンU.S.A.設立
- 1967 ● 創立30周年、「右手にカメラ、左手に事務機」をスローガンに多角化を推進  
● 現地法人キヤノンラテンアメリカ設立
- 1968 ● キヤノン事務機販売(現キヤノンマーケティングジャパン)設立  
● キヤノンアムステルダムN.V.(現キヤノンヨーロッパN.V.)設立  
● 独自の電子写真方式「キヤノンNPシステム」発表、普通紙複写機分野に進出
- 1969 ● キヤノン株式会社に社名変更

- キヤノンカメラ販売設立、国内カメラ販売体制強化
- 世界初の蛍石採用レンズ発売



NP-1100

1970年代  
~多角化の推進 優良企業をめざして~

- 1970 ● 日本以外で初の生産拠点、台湾キヤノン設立  
● パーソナル電卓市場に進出  
● 国産初の普通紙複写機「NP-1100」発売  
● 国産初の半導体露光装置「PPC-1」発売
- 1971 ● キヤノン事務機販売、キヤノンカメラ販売を一本化、キヤノン販売株式会社スタート  
● 最高級一眼レフカメラ「キヤノンF-1」、FDレンズ発売
- 1972 ● ドイツにヨーロッパ初の生産拠点、Physotec GmbH(現キヤノギーセン)設立  
● 世界初の液乾式普通紙複写機「NP-L7」発売
- 1973 ● キヤノンドイツ設立  
● 日本初のフルカラー普通紙複写機を発表  
● 35mm映画用マクロズームレンズが米国映画アカデミー科学技術部門賞受賞
- 1974 ● 前田武男、キヤノン株式会社代表取締役社長に就任
- 1975 ● キヤノンフランス設立  
● レーザービームプリンター(LBP)開発
- 1976 ● 第一次優良企業構想スタート、キヤノン式開発・生産・販売システム検討委員会発足  
● キヤノンビジネスマシズ(現キヤノンU.K.)設立  
● マイコン搭載カメラ「AE-1」発売、AE一眼ブームとなる  
● 世界初の無散瞳眼底カメラ「CR-45NM」発売
- 1977 ● 賀来龍三郎、キヤノン株式会社代表取締役社長に就任  
● 35mm映画用レンズ「K-35」シリーズが米国映画アカデミー科学技術部門賞受賞
- 1978 ● 製品別の事業部制を導入  
● キヤノンオーストラリア設立  
● 世界初のリテンション方式複写機「NP-8500」発売  
● 世界初のレーザー走査オートアライメント機構採用のマスクアライナー「PLA-500FA」発売
- 1979 ● キヤノンシンガポール設立  
● 海外売上が初めて1,000億円を突破  
● 半導体レーザー内蔵の「LBP-10」発売



PPC-1



前田武男



AE-1



賀来龍三郎



LBP-10

1980年代  
~第二の創業 企業理念「共生」を制定~

- 1980 ● 日本初ローマ字入力採用ワープロ「キヤノワード55」発売
- 1981 ● プロ用システム一眼レフ「New F-1」発売
- 1982 ● 第二次優良企業構想スタート  
● 世界初のカートリッジ方式複写機「ミニコピアPC-10/PC-20」発売
- 1983 ● キヤノンプルターニュー(フランス)設立
- 1984 ● ヒューレットパッカード(米国)にレーザービームプリンターのOEM供給を開始  
● 世界最小・最軽量のレーザープリンター「LBP-8/CX」発売



PC-10



LBP-8/CX

- 1985 ● キヤノンパージニア(米国)設立
- 世界初のバブルジェット方式インクジェットプリンター「BJ-80」発売
- 1987 ● 世界初のフルカラーデジタル複写機「カラーレーザーコピーA1」発売
- オートフォーカス一眼レフシステム「EOS」、EFレンズ群発売
- 1988 ● 第二の創業を宣言、「共生」を企業理念とし、グローバル企業構想(5カ年)スタート
- キヤノンオプト(マレーシア)設立
- 1989 ● 山路敬三、キヤノン株式会社代表取締役社長に就任
- キヤノン大連事務所有限公司(中国)設立



BJ-80



EOS 650



山路敬三



御手洗肇



御手洗富士夫



IXY



ニューヨーク証券取引所に上場



IXY DIGITAL



EOS Kiss Digital

1990年代  
~グローバル優良企業グループ構想スタート~

- 1990 ● カートリッジ回収リサイクルシステム開始
- キヤノンインフォメーションシステムズR&Dヨーロッパ(現キヤノンリサーチセンターフランス)設立
- キヤノンハイテクタイランド設立
- 1993 ● 御手洗肇、キヤノン株式会社代表取締役社長に就任
- 第二次グローバル企業構想(5カ年)スタート
- 環境憲章制定
- 1994 ● 社団法人発明協会の全国発明表彰で「BJプリンター装置の発明」が恩賜発明賞受賞
- 1995 ● 御手洗富士夫、キヤノン株式会社代表取締役社長に就任
- 1996 ● 「グローバル優良企業グループ構想」スタート
- APS対応の2倍ズームコンパクトカメラ「IXY」発売
- 1997 ● キヤノン(中国)有限公司設立
- 1998 ● 経営革新委員会発足
- 生産革新が全社的にスタート
- 国内で複写機の再製造事業開始、複写機再製造の日米欧三極体制を確立
- キヤノンミドルイースト(アラブ首長国連邦)設立

2000年代  
~全主力事業世界No.1をめざし、デジタル化を推進~

- 2000 ● ニューヨーク証券取引所に上場(2023年3月上場廃止)
- コンパクトデジタルカメラ「IXY DIGITAL」発売
- ドキュメント集配信機能を搭載した新世代ネットワーク複合機「iRシリーズ」発売
- 2001 ● ヨーロッパ本社・キヤノンヨーロッパLtd.(イギリス)設立
- キヤノンベトナム設立
- 2002 ● 下丸子に新本社棟完成
- プロ用最高級デジタルAF一眼レフカメラ「EOS-1Ds」発売
- 2003 ● 普及型デジタルAF一眼レフカメラ「EOS Kiss Digital」発売
- 2004 ● キヤノンロシア設立
- イガリモールド(現キヤノンモールド)を完全子会社化
- 2005 ● コンプライアンスカードをキヤノングループ社員11万人に配布

- アネルバ(現キヤノンアネルバ)を連結子会社化
- NECマシンリー(現キヤノンマシンリー)を連結子会社化
- 「リアルタイムX線撮影装置用大画面センサーの発明」で恩賜発明賞受賞
- 2006 ● 御手洗富士夫、キヤノン株式会社代表取締役会長CEO、内田恒二、代表取締役社長COOに就任
- 御手洗富士夫会長、社団法人日本経済団体連合会の2代目会長に就任
- 「キヤノンマーケティングジャパン」にキヤノン販売が社名変更
- 2007 ● トッキ(現キヤノントッキ)を連結子会社化
- 京都文化協会と文化財未来継承プロジェクト「綴プロジェクト」をスタート
- 「imagePRESS C7000VP」発売、デジタル商業印刷市場に本格参入
- 2008 ● 一般財団法人キヤノングローバル戦略研究所、キヤノン財団設立
- デジタル一眼レフカメラとして初めてフルHD動画撮影を実現した「EOS 5D Mark II」発売
- 2009 ● キヤノンヨーロッパ、本社機能をロンドンに統合
- IT環境との連携を強化した新世代オフィスネットワーク複合機「imageRUNNER ADVANCEシリーズ」発売



御手洗富士夫



内田恒二



imagePRESS C7000VP



EOS 5D Mark II



imageRUNNER ADVANCE



CINEMA EOS SYSTEM



御手洗富士夫



ずばる望遠鏡



EOS M



DP-V3010

2010年代  
~現行事業の関連多角化 新たな成長に向けて挑戦~

- 2010 ● オセ(現キヤノンプロダクションプリンティング)を連結子会社化
- 御手洗富士夫会長、公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会の会長に就任
- 2011 ● キヤノンプラチンプリタイランド設立
- キヤノンビジネスマシナズフィリピン設立
- 映像制作用のレンズ・カメラで構成する「CINEMA EOS SYSTEM」発表、映像制作市場へ本格参入
- 2012 ● 御手洗富士夫、キヤノン株式会社代表取締役会長兼社長CEOに就任
- 国立天文台ハワイ観測所の「ずばる望遠鏡」の主焦点カメラにレンズユニットを搭載し、広視野化に貢献
- マサチューセッツ総合病院、プリガム・アンド・ウィメンズ病院との共同研究に合意
- 小型・軽量のミラーレスカメラ「EOS M」発売
- 「放送用HDビデオカメラ向けの大型CMOSセンサーの改良」で第64回技術工学エミー賞受賞
- 2013 ● 御手洗富士夫会長、天皇陛下より旭日大綬章を受章
- キヤノンソリューションズアメリカ設立
- 業務用30型4Kディスプレイ「DP-V3010」発売、4K映像制作ディスプレイ市場に参入
- 2014 ● 御手洗富士夫会長、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の名誉会長に就任
- 米国のモレキュラーインプリント(現キヤノンナノテクノロジーズ)を完全子会社化

- キヤノンヨーロッパがマイルストーンシステムズ(デンマーク)を完全子会社化
- 3Dマシンビジョンシステム「RV1100」発売、マシンビジョン市場に参入
- 2015 ● アクシス(スウェーデン)を連結子会社化
- 2016 ● 御手洗富士夫、キヤノン株式会社代表取締役会長CEO、真栄田雅也、代表取締役社長COOに就任
- 東芝メディカルシステムズ(現キヤノンメディカルシステムズ)を完全子会社化
- アクシスとレンズ交換式ネットワークカメラ「AXIS Q1659」を共同開発
- 2017 ● 本社敷地内に商業印刷機の体験施設「カスタマーエクスペリエンスセンター東京」開設
- 宮崎ダイシンキヤノン(現宮崎キヤノン)を完全子会社化
- キヤノン電子が超小型人工衛星「CE-SAT-I」の打ち上げに成功
- ナノインプリント半導体製造装置「FPA-1200NZ2C」を東芝メモリ(現キオクシア)四日市工場に納入
- 自由視点映像生成システムを開発
- UV硬化型大判プリンター「Colorado 1640」発売
- 2018 ● 環境活動の発信拠点「キヤノエコテックパーク」開所
- ソフトウェア研修施設「Canon Institute of Software Technology」開設
- 映像解析ソフトウェアのリーディング企業であるブリーフカム(イスラエル)を完全子会社化
- 国立文化財機構と文化財高精細複製品の制作と活用に関する共同研究プロジェクト発足
- 「EOS Rシステム」発表、フルサイズミラーレスカメラ「EOS R」、新マウント採用の「RFレンズ」発売
- 2019 ● インスタントカメラプリンター「iNSPIC ZV-123」発売
- 御手洗富士夫会長、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会の会長に就任
- キヤノンメディカルが世界初のディーブローニングを活用したノイズ除去再構成技術搭載のMRI装置を発売
- ネイティブ4Kプロジェクター「4K6021Z」発売
- 京都大学iPS細胞研究所と共同研究開始
- キヤノンの超高感度CMOSセンサー搭載の東京大学木曾観測所観測システム「トモエゴゼン」が本格始動
- EOSシリーズ、累計生産台数1億台達成
- 8K放送用ズームレンズ「UHD DIGISUPER 51」発売
- 日本医療機器開発機構に出資
- 群衆人数を算出する映像解析技術を開発



RV1100



御手洗富士夫



真栄田雅也



AXIS Q1659



FPA-1200NZ2C



EOS R



iNSPIC ZV-123



4K6021Z



4K6021Z



御手洗富士夫

2020年以降  
~変身と挑戦で戦略的大転換を促進~

- 2020 ● 「キヤノンプロダクションプリンティング」にオセが社名変更
- 超高感度多目的カメラ「ME20F-SH」で第71回テクノロジー&エンジニアリングエミー賞受賞
- 御手洗富士夫、キヤノン株式会社代表取締役会長兼社長CEOに就任

- 世界初100万画素SPADイメージセンサーを開発
- Visual SLAM技術を開発し、移動ロボット市場に参入
- 2021 ● ネットワーク経由で複数のカメラを制御できる映像制作用リモートカメラシステムを発売
- 御手洗富士夫会長、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟の総裁に就任
- フルサイズ裏面照射積層型CMOSセンサーを搭載のフルサイズミラーレスカメラ「EOS R3」を発売
- キヤノンメディカルが国立がん研究センターとフotonカウンティングCTの共同研究を開始
- 放射線検出とイメージングの先進技術をもつレドレンテクノロジーズ(カナダ)を完全子会社化
- VR映像撮影システム「EOS VR SYSTEM」誕生
- 「キヤノングループ人権方針」を公開
- カメラ任せの記録が可能な自動撮影カメラ「PowerShot PICK」を発売
- キヤノンメディカルがディーブローニングを応用した超解像画像再構成技術(PIQE)搭載のX線CT診断装置を発売
- 世界初の水性顔料蛍光インク搭載の大判プリンター「GPシリーズ」を発売
- 2022 ● 320万画素SPADセンサーを開発
- キヤノンオプトロンが酸化物質固体電解質を開発
- キヤノンプロダクションプリンティングがラベル・パッケージ印刷機メーカーであるイーデール社(英国)を完全子会社化
- 半導体露光装置のサポート業務効率化を実現するソリューションプラットフォーム「Lithography Plus」を発売
- アクシス製ネットワークカメラにAI機能を追加することができる「AI アクセラレーター AS-AN11」を発売
- 2023 ● キヤノンヘルスケアUSA(米国)設立
- キヤノンメディカルが国立がん研究センターとフotonカウンティングCTの臨床研究を開始
- 薄型・軽量、高精度の力覚センサー「FH-300-20」を発売
- 気軽に動画撮影を楽しめるVlogカメラ「PowerShot V10」を発売
- 世界初のカラー撮影用SPADセンサー搭載超高感度カメラ「MS-500」を発売
- ナノインプリントリソグラフィ技術による半導体製造装置「FPA-1200NZ2C」を発売
- 新製品や将来技術を展示した「Canon EXPO 2023」を横浜にて開催
- 東京大学・キヤノン・キヤノンメディカルが産学協創協定を締結
- クリーブランド・クリニック(米国)と戦略的研究パートナーシップに合意



EOS R3



VR用レンズ RF5.2mm F2.8 L DUAL FISHEYE



PowerShot PICK



超解像画像再構成技術を搭載したX線CT診断装置



320万画素SPADセンサー



FH-300-20



PowerShot V10



MS-500



FPA-1200NZ2C

詳しい「キヤノンの歴史」は [こちら](#)から



# キヤノングループの主な製品

## ■ プリンティング

\*特に記載のない場合、プリント/コピー速度はA4片面での速度を示しています

### ■ 連帳プリンター



#### ProStream 3000 series

- グラフィックアーツ市場向け高速カラー連帳プリンター
- 最大133m/分の生産性を誇り、オフセット同等画質をコート紙/非コート紙で実現



#### ColorStream 8000 series

- 書籍やDMなどに適した高速カラー連帳プリンター
- 最大160m/分の生産性を誇り、非コート紙への高品位な印刷を実現

### ■ カットシートプリンター



#### varioPRINT iX3200

- 高速カラーカットシートプリンター
- 幅広い印刷物に対応するiQuarius<sup>ix</sup>テクノロジーを搭載



#### varioPRINT iX1700

- 商業印刷向けB3サイズ対応カラーカットシートプリンター
- 新開発のヘッド・インクにより安定稼働とオフセット印刷に迫る高い印刷品位を実現

### ■ ソリューションソフトウェア



#### ウェブ版PosterArtist

- 誰でもかんたんにポスターやチラシなどを作成
- 幅広い用途に対応する豊富なテンプレートを用意



#### uniFLOW Online

- スキャンした情報をクラウドサービスへ直接送信
- 個人認証で情報漏えいリスクを低減

### ■ イメージスキャナー



#### CanoScan LiDE 400

- スキャン速度の高速化を実現したフラットベッドスキャナー
- データをクラウドへワンタッチで保存可能



#### PR5000-C

- 手でページ送りができるリングタイプのページリッカーで、BluetoothとUSBでの接続が可能
- 抗菌仕様



#### varioPRINT 6000 series

- 最大で月間1,000万ページの印刷を可能にする高速モノクロプリンター
- 1パス両面印刷を可能にし、オフセット印刷に迫る高品質な印刷を実現



#### imagePRESS V1350

- 多品種少量数に適した高速カラープリンター
- A4 135枚/分の高速印刷と、高信頼性・高耐久性で、短納期化と安定した生産を実現



#### imagePRESS V1000

- 多品種少量数に適したカラープリンター
- 幅広い用紙対応力で、多様な印刷物を高い生産性で作成可能



#### LabelStream LS2000

- キヤノン初の産業印刷向け水性インクジェットラベル印刷機
- 新開発のヘッド・インクと標準搭載の白インクにより幅広いラベル素材に対応

### ■ 電卓



#### HS-1220TUB/TS-122TUB/LS-122TUB

- ビジネス向け12桁表示卓上電卓シリーズ
- バイオマスプラを採用し、グリーン購入法適合



#### MK5000/MK3000

- 配電盤や配線、ケーブルなどに識別番号を印字するプリンター
- 最速55本/分\*1の印字速度を実現

### ■ カラーラベルプリンター



#### LX-D5500/LX-P5500

- 高発色で表現力豊かな染料モデルとラベルの長期使用に強い顔料モデル
- 最速200mm/秒(LX-D5500の場合)の高速フルカラーオンデマンド印刷



#### CX-G6400/IX-R7000

- 名刺やプラスチックカードなどの多彩なメディアに対応
- 100枚/分の高速印刷\*2

### ■ 大判プリンター(グラフィックアーツ)



#### Colorado M-series

- 64インチ対応 UVgelテクノロジー搭載ロールtoロールプリンター
- 白インクを備え、幅広い用途のメディアに高品位な大判印刷を実現



#### Arizona series

- VariaDotイメージングテクノロジー搭載UV硬化型大判フラットベッドプリンター
- ロールメディアオプションを備え、最大50.8mm厚の硬質材の印刷に対応



#### imagePROGRAF TM-355

- 高画質な図面やポスターの高速出力でマルチユースに対応するA0ノビ大判プリンター
- フラットトップデザインにより狭い場所でも簡単にロール紙セットが可能



#### imagePROGRAF GP-4000

- 水性顔料蛍光インク搭載により広色域を実現するB0ノビ対応の大判プリンター
- 紙面上でインクを重ねる「デジタルねりこみ」処理により、明るくやわらかな色を再現

## ■ メディカル

### ■ X線CT診断装置



- 脳や心臓などの臓器全体を1回転で撮影
- 低線量撮影・高画質・処理速度向上を実現したCT

### ■ 超音波診断装置



- 循環器診断に適したハイスpekな装置
- 質の高い検査の実現をサポートする技術iBeamを搭載

### ■ X線診断装置



- 胸部や腹部の撮影、全身の骨の撮影など多様な検査に対応
- オートポジショニング機構搭載で、ボタンひとつで自動位置合わせが可能

### ■ MRI装置



- AIを用いて設計したノイズ除去再構成技術\*3を搭載したMRI
- 高画質化、撮像の高速化を実現

### ■ オフィス向け複合機



#### imageRUNNER ADVANCE DX C5870F

- A3カラー複合機(カラー・モノクロともに70枚/分)
- 高速立ち上げ・低消費電力・静音性など本質性能を向上



#### imageRUNNER ADVANCE DX 4945F

- A3モノクロ複合機(45枚/分)
- 業界トップクラスの低消費電力や本体の軽量化を実現



#### Satera MF755Cdw

- A4カラーレーザー複合機(カラー・モノクロともに33枚/分)
- 両面同時読み取りADFによる高速スキャンで受付や窓口業務を効率化



#### Satera LBP362i

- A4モノクロレーザープリンター(71枚/分)
- 高速、大容量給紙で大量出力業務の使い勝手を向上

### ■ PET-CT装置



- TOF技術により画質向上を実現
- 閉塞感を低減する開口径780mmのワイドポアにより、患者に快適な検査環境を提供

### ■ 検体検査装置



- 検体処理の高速化・効率化を実現
- さまざまな試薬運用に対応できる大架設容量試薬庫を装備

### ■ POCTソリューション



- POCT\*4製品で初めて、新型コロナウイルスの抗原定量検査を実現
- 装置1台で5種類の検査キットを測定可能

### ■ X線循環器診断システム



- X線を使用し、血管の状態をリアルタイムに映像化する装置
- AIを用いた画像処理により、画質向上、線量低減、ワークフローの効率化を実現

### ■ インクジェットプリンター



#### GX4030

- 特大容量タンク搭載の顔料インクジェット複合機
- コンパクト設計・低ランニングコストでありながら、高画質なビジネス文書を印刷



#### G3370

- 特大容量タンクを搭載したエントリー・インクジェット複合機
- 高い生産性と低ランニングコストで自宅での仕事や学習をサポート



#### TR153

- 小型・軽量設計で外出先に手軽に持ち運び可能なモバイルプリンター
- 5GHz対応のWi-Fiを搭載

### ■ コンパクトフォトプリンター



#### iNSPiC PV-223

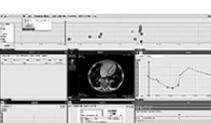
- スマートフォン写真をその場でシールにできるミニフォトプリンター
- Bluetooth接続・専用アプリでの画像加工が可能

### ■ X線TVシステム



- 透視を用いた検査・処置・治療に活用
- 低線量で粒状性のよい、クリアな透視像を実現

### ■ 医療情報ソリューション



- 患者の治療や検査の情報を時間軸で統合
- 医師別・診療シーン別に最適な情報を提供

### ■ デジタルラジオグラフィ



- 一般撮影から回診まで幅広い撮影に対応
- X線照射量をリアルタイムに検出し過剰な線量照射を抑制

### ■ AIによるノイズ低減技術



- 独自のAIノイズ低減画像処理により従来比最大約50%のノイズ低減
- 従来のワークフローを阻害せず、リアルタイムで処理を実現

\*1:チューブ長20mm、5文字(3mm全角)印刷時 \*2:名刺やプラスチックカード(JIS規格カードサイズ)の場合(CX-G6400のみ) \*3:本システム自体に学習機能は有していません \*4:Point of Care Testing 臨床現場即時検査

眼科機器



- 眼の奥の断層写真を撮影する装置で、従来よりも広く深い撮像範囲を実現
- 光干渉断層血管撮影 (OCTA) とノイズ低減AI処理により広角・高画質を実現

X線管



- 液体金属潤滑軸受を用いたコンパクトで高冷却なCT診断装置用X線管装置
- 大焦点で高出力、小焦点で高精細かつ低被ばくを実現

X線イメージングデバイス



- 高性能X線用蛍光体および電子ビーム収束機構を有し、高感度・高解像度出力を実現
- 外科用Cアーム装置の低被ばく化を実現

マイクロ波管



- 高効率設計と永久磁石を用いたPPM収束方式により放射線がん治療装置の省エネルギー・省スペースを実現

EOS R5



- 約4,500万画素と最高約20コマ/秒の高速連写を両立
- 世界初\*3の8K動画撮影と8.0段の手ブレ補正による快適な撮影

EOS R50



- 小型軽量ボディと高画質を両立
- 進化したオート機能とVlog向け便利機能で初心者でもかんたんにきれいな静止画・動画撮影が可能

VRシステム



EOS VR SYSTEM

- 高画質な3Dの180°VR映像を実現するシステム
- 撮影から編集までの効率的なワークフローを可能にし、映像制作をサポート

交換レンズ



RFレンズ・EFレンズ

- EOSシリーズに対応した超広角から超望遠まで幅広いラインアップ
- 優れた光学技術による高画質

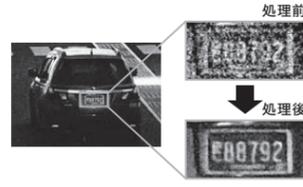
イメージング

超高感度カメラ



MS-500

- 世界最高画素数\*1の約320万画素1.0型SPADセンサー\*2を搭載
- 暗闇や遠方でもフルHDの鮮明なカラー撮影が可能



映像鮮明化ソフトウェア

- 超高感度カメラシリーズ向けの映像鮮明化ソフトウェア
- AIを活用したノイズ低減処理などにより映像の視認性を向上

ネットワークカメラ



VB-H47

- 光学20倍ズームレンズ搭載、高性能PTZモデル
- 優れた低照度性能で、WDR機能も搭載

ネットワークカメラ



AXIS Q3626-VE Dome Camera

- ディープラーニングによる分析機能搭載の4メガピクセルドームカメラ
- カメラアングルを遠隔操作で調整可能

コンパクトデジタルカメラ



PowerShot G7X Mark III

- ライブ配信サービスに対応したプレミアムモデル
- 4K動画や縦位置動画などの撮影機能を搭載

ニューコンセプトカメラ



PowerShot ZOOM

- 「観る」と「撮る」を一体化した新しいコンセプトの望遠鏡型カメラ
- 手のひらサイズで100mm/400mm相当の光学ズーム

インターネットサービス



image.canon

- カメラとつながるクラウドプラットフォーム
- PC・スマートフォン・外部のウェブサービスに画像転送可能

映像解析ソフトウェア



AXIS P3738-PLE Panoramic Camera

- ディープラーニング分析機能を搭載した4K×4チャンネルの全指向性カメラ
- 個別制御式LEDによる360°赤外線照明



Crowd People Counter

- 数千人規模の群衆人数をリアルタイムにカウント
- 複数エリアを指定してカウントが可能



AIアクセラレーター AS-AN11

- アクシス社製ネットワークカメラに侵入検知などのAI機能を追加するmicroSDカード型アクセラレーター



Vision-based Navigation Software

- 「移動ロボットの眼」映像解析ソフトウェア
- 周囲の静止物をマーカー代わりにする空間特徴位置合わせ技術を活用

コンパクトフォトプリンター



SELPHY CP1500

- 耐久性に優れた高画質プリント
- スマートフォンやPCとかんたんに接続し手軽にプリントが可能

デジタルシネマカメラ



EOS R5 C

- フルサイズセンサーを搭載し、EOS R5から進化した8K/60P RAW内部記録
- EOS R5同様の高解像度・高速な静止画性能

デジタルビデオカメラ



XF605

- 高画質と小型化を両立した業務用4Kビデオカメラ
- 4K/60P/4:2:2/10bit/HDRの高画質な映像を撮影

RFシネマレンズ



Prime Lensシリーズ

- RF通信プロトコルにも対応した、RFマウント採用フルマニュアル単焦点レンズ
- 8Kカメラ対応の高い光学性能

ビデオ管理ソリューション



BriefCam Video Analytics Platform

- 録画映像の検索、オブジェクトの可視化などにより、より効果的な調査、状況把握、データ分析を実現



Milestone XProtect®

- オープンプラットフォームのビデオ管理ソフトウェア
- 幅広い規模のシステムに対応



VisualStage Pro powered by Arcules

- オープンプラットフォームのビデオ管理クラウドサービスで、多拠点・多台数のビデオ映像を一元管理可能
- 低コスト設置とメンテナンスレス

インフラ点検ソリューション



インスペクションEYE for インフラ Cloud Edition

- 橋やトンネルの点検向けに、画像からひび割れを検知するクラウドAIサービス
- エアロレスセス、はく落、錆汁、鉄筋露出などの変状検知も可能

4K放送用スタジオ/フィールドズームレンズ



UHD DIGISUPER 122 AF

- 高速・高精度AF機能搭載
- ズーム倍率122倍、焦点距離広角端8.2mmから望遠端1,000mmを実現(1×時)

業務用4Kディスプレイ



DP-V2730

- 業務用27型4K HDRディスプレイ
- HDR規格対応と黒の表現力・広色域・広視野角を実現

リモートカメラ



CR-N700

- 4K/60P/HDRの屋内向けリモートカメラ最上位機種
- 人物認識による瞳検出・顔検出に対応した高いAF性能

リモートカメラソフト



自動追尾アプリケーション

- 人物の動きにあわせて自動で被写体を追尾
- 追尾対象サイズや追尾対象表示位置、オートズームなどの豊富な調整機能

産業用ソフトウェア



Vision Edition 2

- 製造流通における点検・検査の自動化・DXを支援する画像解析ソフトウェア
- 多種多様な映像入力機器・ビデオ管理ソフト・周辺機器などとの連携が可能

MRシステム



MREAL X1

- MREALシリーズで最大表示面積を実現
- 検証効率や臨場感の向上により、多様な業界におけるDXの推進に貢献

レンズ交換式デジタル一眼レフカメラ



EOS-1D X Mark III

- 最高約20コマ/秒の高速連写と高精度AFを実現
- プロのニーズに対応した通信機能と操作性

ミラーレスカメラ



EOS R3

- AF/AE追従で最高約30コマ/秒の高速連写と高感度を両立
- 35mmフルサイズ裏面照射積層型CMOSセンサーを搭載

双眼鏡



10×20 IS

- 高性能と携帯性を両立した小型・軽量モデル
- EFレンズの光学技術に応用したシフト方式の手ブレ補正機構

蒸着材料



OR-510

- 水をかんたんに落とすことができるフッ素フリーコーティング材料
- フッ素規制に適合したPFAS不使用

酸化物固体電解質



酸化物固体電解質

- 高い伝導性を持ち、低温度で焼結が可能
- 大気安定性を保有

光学結晶



蛍石 (CaF<sub>2</sub>)

- 低分散・異常分散などの光学特性
- EFレンズ・放送用レンズなどに利用

\*1:映像撮影用のSPADセンサーにおいて、2023年4月2日時点(キヤノン調べ) \*2:総画素数約320万画素/有効画素数約210万画素

\*3:2020年7月8日現在発売済みのレンズ交換式デジタルカメラにおいて

■ インダストリアル・その他

■ 半導体露光装置

半導体チップのもととなるウエハーを高速かつ正確に動かすステージや、高精度な位置合わせを可能にする技術が搭載されています



FPA-6300ES6a

- ・1時間あたり300枚以上\*1の高い生産性
- ・メモリー・ロジック系半導体・画像デバイスの量産に最適



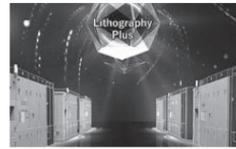
FPA-5520iV LF2オプション

- ・先端後工程向けi線露光装置
- ・100×100mmの大型・高密度配線パッケージを実現



FPA-1200NZ2C

- ・回路パターンをハンコの原理で形成するナノインプリントソングラフィ技術を使用
- ・シンプルな装置構成で先端デバイスのパターンを形成するため環境負荷も軽減



Lithography Plus

- ・半導体露光装置の生産性向上機能を搭載
- ・製造条件の最適化支援や各種装置状況を見える化

■ 射出成形用金型

自動車・医療機器など多様な製品ジャンルの部品の大量生産に貢献します



射出成形用金型

- ・高精度・高耐久・高生産性を実現
- ・技術的に難易度の高い金型を製造

■ CMOSセンサー

カメラのキーデバイスである最先端のイメージセンサーです



LI5030

- ・グローバルシャッター機能搭載
- ・約1,900万画素の多画素、約58fpsの高速撮像、画素サイズ6.4μmの高感度・高画質を実現

■ コンタクトイメージセンサー

イメージスキャナーなどで用いられる画像読み取り機構です



コンタクトイメージセンサー

- ・レンズやセンサーIC部を一体化させた画像読み取りセンサー
- ・紙幣読み取り・産業用検査機器などで高い読み取り精度を実現

■ ハンディターミナル

検針、ルートセールスなどのモバイルビジネスの効率化に貢献します



PRea GT-50

- ・Windows 10対応により、さまざまな業務で活用が可能
- ・タッチパネル付きの5型大画面カラーLCDを採用

■ 個人認証カードリーダー

マイナンバーカードなどを読み取り、金融機関での本人確認業務を支援します



ID-MY2

- ・マイナンバーカードなど公的証明書の読み取りに対応
- ・キャッシュカード読み取りおよび口座振替手続きに対応

■ 有機ELディスプレイ製造装置

真空蒸着技術により、スマートフォンやテレビのパネル量産を実現します

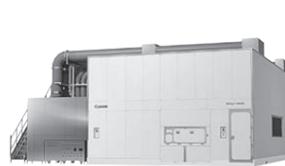


System-ELVSS

- ・マスク蒸着による高精細パネルを生産
- ・パネルサイズや用途にあわせて柔軟に対応

■ FPD露光装置

ガラス基板にマイクロメートル単位の電子回路をつくり、スマートフォンの高精細化やテレビパネルの大画面化などに対応します



MPA<sub>sp</sub>-H1003H

- ・第8世代ガラス基板にて高解像力と高生産性を両立
- ・IT用高精細パネルから65型の大型パネルまで幅広いパネル製造が可能



MPA<sub>sp</sub>-E903T

- ・解像力1.2μm以下で高精細中小型ディスプレイ製造に対応
- ・照明モードを複数もつことで多様な回路パターンを最適な条件で効率的に生産可能

■ MRAM製造装置

次世代メモリーとして期待されているMRAM\*2の量産を実現します



NC7900

- ・垂直磁化型MTJ\*3でMR比\*4200%を実現
- ・1時間あたり20枚以上の高い生産性

■ テープフレキ

リールtoリールで生産される長尺化が可能なフレキ基板です



テープフレキ

- ・生産効率が高く大量生産品の低コスト化が強み
- ・生産過程で人の手に触れないため、高品質

■ ジャイロトロン

核融合実験炉ITERのプラズマ加熱用高出力マイクロ波源デバイスです



E39104

- ・ダイヤモンド窓を用い1MWの出力
- ・エネルギー回収技術で高出力化と設備全体の小型・省電力化を実現

■ デジタルガルバノスキャナー

レーザーマーカーや3Dプリンターで高精度なレーザー走査を実現します



GMシリーズ

- ・高精度エンコーダーとデジタル制御技術で、高い位置再現性を実現
- ・ラインアップを充実し、さまざまな加工シーンに対応可能

■ レーザー穴あけシステム

超短パルスレーザーに対応し、さまざまな非熱レーザー微細加工を高精度で実現します



MA-1010シリーズ

- ・独自光学技術により、さまざまな加工ビームの光軸傾斜が可能
- ・光軸傾斜により、円筒形状など自由度の高い各種穴あけを実現

■ エアベアリング

半導体製造装置などに組み込まれている非接触軸受です



エアベアリング

- ・高剛性・高減衰・高負荷容量を実現、高い回転精度を半永久的に維持
- ・モーターを組み込みスピンドル化も可能

■ 原子拡散接合装置

超高真空下において、加熱、加圧なしで強固なウエハー接合を実現する装置です



BC7300

- ・基板搬送・成膜・接合・回収を全自動で真空一貫処理
- ・常温・無加圧で原子レベルの接合が可能

■ ダイボンダー

ICチップをリードフレーム上に速く正確に接合します



BESTEM-D540

- ・12インチウエハー対応パワーデバイス用ダイボンダー
- ・高品質はんだ接合による車載デバイス対応

■ 基板用コイニング装置

パッケージ基板上のはんだパンプを高精度に平坦化します



HPM-45000

- ・高さのばらつきを制御する「ヘッド自動平行調整」機能を搭載
- ・はんだパンプの微細化、高密度化にともなう高精度・高荷重化ニーズに対応

■ 小型三次元加工機

小型・省スペースで、高精度の三次元加工を実現します



MF-150A Mark II

- ・アルゴリズムの改善などにより加工時間が大幅に短縮
- ・100V稼働で居室への設置も可能

■ 感圧センサー

圧力の変化を容易にリアルタイムで検出します



微圧センサー

- ・着衣のフィッティング圧や脈拍の動きなどわずかな力にも応答
- ・新開発の導電塗料を採用

■ 非接触測長計

対象物の移動量、距離、速度を高精度かつ非接触で測定します



PDシリーズ

- ・高速・高加速度対応（最大10m/秒、100G）
- ・LED採用によりレーザー環境整備が不要で、取り回しが容易

■ 力覚センサー

物体の荷重3軸と回転させる力（モーメント）3軸の大きさ・方向を測定します



FH-300-20

- ・キヤノンのエンコーダーを搭載し、薄型・軽量化と高精度を両立
- ・ロボットアームに搭載し、物を把持する強さなど人の感覚をもたせることが可能

■ キャパシタンスゲージ

真空中の圧力を長期間安定的に高精度に測定します



M-342DG

- ・高精度で安定した圧力測定
- ・コンパクト、低消費電力

■ 3Dマシビジョンシステム

生産ラインなどで部品の位置や姿勢を認識し、部品供給の自動化を推進します



RV1100/500/300

- ・高速・高精度な三次元認識を実現
- ・小型・軽量のIP54相当の筐体で設置が容易

■ 小型電動射出成形機

レイアウトフリーでインライン成形を実現します



LS-300/LS-715/ML-100

- ・省スペース・省エネルギー・省資源を実現
- ・短時間で交換・製作が可能な専用カセット金型

■ 歯科用ミリングマシン

工業用加工機の技術を応用し、高速で高精度な加工を実現します



MD-500S/MD-500W

- ・高い剛性と小型化を両立
- ・日常の使いやすさを重視した操作性

■ 業務用生ごみ処理機

バイオと乾燥のハイブリッド方式で廃棄物の量を大幅に削減します



Land care 16 II

- ・連続投入ができ、ごみ箱のような感覚で使用可能
- ・手を汚さない自動袋詰め機能搭載

■ 人工衛星

宇宙空間から地球・天体の観測を可能にします



衛星搭載用望遠鏡シリーズ

- ・高解像度の地上・宇宙空間の写真を撮影するための超望遠光学システム
- ・ニーズに応じたカスタム化が可能

■ 省エネ型クライオポンプ

半導体製造装置や電子部品製造装置などの真空排気に使われます



POWER<sup>Eco</sup>シリーズ

- ・消費電力や冷却水量を低減するなど優れた省エネ性能を実現
- ・再生起動時間を短縮

■ ドキュメントスキャナー

ドキュメントを高速にデジタル化し、業務プロセスで情報のインプットを担うキーデバイスです



DR-S250N

- ・多様なワークプレイスにフィットするインストール不要なブラウザスキャン
- ・表示内容をカスタマイズできる有機LEDディスプレイ

■ モバイルプリンター

屋外でも場所を選ばずにさまざまな情報を印刷します



BP-F400

- ・幅254mm、奥行き55mm、厚さ30mmと重さ約580gの小型・軽量ボディを実現
- ・A4サイズの感熱紙印刷に対応

■ ライト&スピーカー

特定の空間だけを照らす照明と臨場感のある上質なサウンドで深い没入体験を実現します



albos Light & Speaker

- ・クリアで豊かな音の響きを360°全方位から体感できる
- ・アームやライトは片手でスムーズに可動

■ 三次元外観検査装置

ワイヤボンディング工程でデバイス検査の自動化・効率化に貢献します



BESTEM-V110

- ・3D計測機能を搭載し、誤検知の少ない外観検査を実現
- ・ワイヤループ・接合部の形状など、多種の検査項目に対応

\*1:300mmウエハー、96ショット、Grade10オプション適用時 \*2:Magnetoresistive Random Access Memoryの略 \*3:Magnetic Tunnel Junctionの略。磁気トンネル接合のこと。Tunnel Magneto-Resistance (TMR) 効果によって磁気抵抗が変化する素子 \*4:Magneto Ratio 磁気抵抗変化率を意味する

●冊子に掲載されている製品のなかには、一部の国や地域では販売されていないものもあります

**Canon**